

仙台北部道路

富谷 J C T 道路詳細設計

特記仕様書（案）

令和 7 年 6 月

東日本高速道路株式会社 東北支社

仙台工事事務所

第1章 総則.....	1
1-1 調査等概要.....	1
1-2 適用する共通仕様書.....	1
1-3 テクリスへの登録.....	1
1-4 履行期間.....	2
1-5 資料の貸与.....	2
1-6 受注者相互の協力.....	3
1-7 部分使用.....	3
1-8 発注者または監督員が行う協議.....	3
1-9 計画工程表.....	4
1-10 調査等打合簿の作成及び提出について.....	5
1-11 工事記録情報の作成及び提出について.....	6
1-12 三者協議会について.....	6
1-13 ウィークリースタンスの取組み.....	6
第2章 業務細部に関する事項.....	7
2-1 業務の内容.....	7
2-2 適用すべき諸基準.....	7
2-3 CIMモデルの活用.....	7
2-4 3次元現況モデル作成.....	7
2-5 設計条件.....	8
2-6 連絡等施設設計.....	8
2-7 附帯工設計.....	10
2-8 構造物設計.....	10
2-9 工事発注用図面作成.....	11
2-10 設計打合せ.....	11
2-11 交通費・日当・宿泊費.....	11
2-12 成果品に関する細部事項.....	11
第3章 補足事項.....	12
3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容.....	12

添付資料

- 様式-1 計画工程表
- 様式-2 履行期間通知書
- 様式-3 工事記録情報 完了届

第1章 総則

1-1 調査等概要

- 1-1-1 調査等名 仙台北部道路 富谷JCT道路詳細設計
- 1-1-2 道路名 仙台北部道路
東北自動車道
- 1-1-3 履行箇所 仙台北部道路
自) 宮城県 宮城郡 利府町 沢乙 (K P 5. 230)
至) 宮城県 富谷市 富谷源内 (K P 13. 536)
東北自動車道
自) 宮城県 仙台市 泉区 七北田 (K P 345. 991)
至) 宮城県 黒川郡 大和町 落合 (K P 356. 963)

1-1-4 主な履行内容

3次元現況モデル作成	0. 25 km ²
連絡等施設設計	
詳細設計	1. 68 km
3次元統合モデル作成	0. 72 km
附帯工設計	
擁壁工設計(大型ブロック積擁壁)	1断面
工事用道路設計 A	0. 07 km
工事用道路設計 B	0. 09 km
標識設計	
基本設計	
本線関係	19. 28 km
I C関係	1型式
市街地関係	6箇所

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-1-3 「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 510 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-1-5-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
報告書一式	仙台北部道路 成田高架橋他 1 橋基本詳細設計	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ
	仙台北部道路 富谷地区道路詳細設計		
	仙台北部道路 富谷地区橋梁検討業務		
	東北支社管内南 道路構造検討業務（富谷 JCT に関わる検討資料）		
	東北自動車道 碓ヶ関 IC～青森 IC 間可変式道路情報板設備更新工事（JCT 情報板に関する資料）		
	仙台北部道路 富谷 JCT 路線測量		
	仙台北部道路 富谷 JCT 構造物基礎調査	令和 8 年 1 月下旬	
構造物設計成果（下部工位置に関するデータ）	仙台北部道路 富谷 JCT 橋基本詳細設計	令和 8 年 10 月下旬	

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで、夏期休暇（3 日）を除く

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
令和7年度 東北支社管内 諸設備支障移転設計	令和7年4月1日～令和8年2月27日	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北	東日本高速道路(株)	隣接施行
仙台北部道路 富谷JCT構造物基礎調査	令和7年3月14日～令和8年1月7日	大日本ダイヤコンサルタント(株)	東日本高速道路(株)	隣接施行
令和7年度 仙台北部道路利府しらかし台IC～富谷JCT間舗装骨材調査業務	令和7年10月1日～令和8年12月31日	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北	東日本高速道路(株)	隣接施行
仙台北部道路 富谷地区舗装詳細設計	令和7年7月～令和8年10月	未定	東日本高速道路(株)	隣接施行
仙台北部道路 富谷JCT橋基本詳細設計	令和7年第4四半期開札～約20ヶ月	未定	東日本高速道路(株)	関連施行

1-7 部分使用

共通仕様書 1-36 「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
仮設構造物設計 特殊作業台	令和8年10月30日	別途実施する調査等業務（橋梁設計）で使用するため

1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の予定時期は、下表のとおりとする。詳細な協議予定時期は契約締結後の当初打合せ時に受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路関係

位置	道路名	管理者名	必要な 協議	協議予定 時期
仙台北部道路 利府しらかし台 I C ～富谷 I C	仙台北部道路	東日本高速道路 (株)東北支社 仙 台東管理事務 所・宮城県警察 高速道路交通警 察隊	標識設計 に関する 協議	標識設計 設計計画・ 型式等の選 定実施時
東北自動車道 泉 I C～大和 I C	東北自動車道	東日本高速道路 (株)東北支社 仙 台管理事務所・ 宮城県警察高速 道路交通警察隊	標識設計 に関する 協議	標識設計 設計計画・ 型式等の選 定実施時
仙台北部道路 S T A 1 4 0 + 0 0 付近	県道 5 6 号 仙台三本木線	宮城県 仙台土木事務所	流末協議	用排水設計 実施時
富谷 I C 接続	国道 4 号	東北地方整備局 仙台河川国道事 務所	標識設計 に関する 協議	標識設計 設計計画・ 型式等の選 定実施時
泉 I C 接続	国道 4 号			
大和 I C 接続	県道 塩釜吉岡線	宮城県 仙台土木事務所	標識設計 に関する 協議	標識設計 設計計画・ 型式等の選 定実施時

(2) 河川、水路関係

位置	河川・水路名	管理者名	必要な 協議	協議予定 時期
仙台北部道路 S T A 1 3 9 + 6 0 付近	一級河川 明石川	宮城県 仙台土木事務所	流末協議	用排水設計 実施時

1-9 計画工程表

1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-8 「発注者または監督員が行う協議」に示す協議予定時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項 目	備考
3次元現況モデル作成	-	
連絡等施設設計	現地踏査	標識設計の現地踏査を含む
	設計計画	
	平面・縦断設計	
	平面図作成	
	縦断図作成、標準横断図作成、 横断図作成	
	横断軸線図作成	
	用排水設計	
	数量計算	
	用地幅調書作成	
	3次元統合モデル作成	
附帯工設計、 構造物設計	擁壁工設計	
	詳細図作成、 設計協議用図面作成	
	工事用道路設計、 仮設構造物設計	
	本線外盛土場設計 設計計画、 平面設計、横断設計、数量計算	
標識設計 基本設計	設計計画	
	型式等の選定	
	平面図作成	
	数量表作成	
工事発注用図面作成	図面修正 A	
設計打合せ	-	
報告書作成	-	

1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告するとともに、共通仕様書様式第1-4号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-1-0 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後7日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後7日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-1-1 工事記録情報の作成及び提出について

- (1) 受注者は、共通仕様書 1-4-4-1「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。
- (2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。
- (3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路（株）東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-1-2 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者として協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1-1-3 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組内容は下記事項を標準として、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者として協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

【取組み内容(標準例)】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない
- ④ 昼休みや午後 5 時以降からの打合せをしない
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、仙台北部道路 富谷 JCT のフルジャンクション化のための連絡等施設設計を行うものである。設計にあたっては、共通仕様書 5-4 「連絡等施設設計」、5-5 「附帯工設計」、5-7 「構造物設計」、5-9 「標識設計」、5-11 「工事発注用図面作成」を適用する。

2-2 適用すべき諸基準

共通仕様書 5-2-1 「適用すべき諸基準」に、下記を追記する。

名 称	発行	備考
BIM/CIM 取扱要領 (本文及び各種附属資料)	国土交通省 大臣官房参事官 (イノベーション) グループ	令和 7 年 3 月
BIM/CIM 活用ガイドライン (案) 第 1 編 共通編、第 5 編道路編	国土交通省	令和 4 年 3 月
LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ 交換標準 (案) Ver. 1.6	国土交通省 国土技術政策総合研究所	令和 6 年 4 月
LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ 交換標準の運用ガイドライン (案) Ver. 1.4	国土交通省 大臣官房技術調査課	令和 3 年 3 月

2-3 CIM モデルの活用

本業務では、BIM/CIM 取扱要領を参考に、次の活用項目について、CIM モデルを活用して業務効率化を図る。

- 1) 3次元地形の作成と CIM モデルの構築
- 2) 属性情報の付与
- 3) 関係者間の相互理解の促進や合意形成、意思決定の円滑化、設計内容の見える化
- 4) 施工段階での CIM モデルの効果的な活用 (土工設計成果の LandXML1.2 での成果品納入)

本業務において、CIM モデルの活用に必要な機器類は受注者が調達するものとする。

なお、使用する機器・ソフトウェアについては、受注者が発注者に報告するものとする。使用するソフトウェアは、LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準に対応したソフトウェアとする。

また、発注者が本業務の成果の閲覧等に使用する予定のソフトは、AutoCAD Civil 3D、Autodesk InfraWorks 及び Autodesk Navisworks (Autodesk 社)である。

2-4 3次元現況モデル作成

2-4-1 設計対象領域の 3次元現況地形モデル作成

受注者は、設計対象領域を、国土地理院基盤地図情報 (数値標高モデル) 5m メッシュ (標高) または、10m メッシュ、国土地理院航空写真を用いて、現況地形の 3 次元現況モデルを作成する。

2-4-2 2次元平面図の重ね合わせ

受注者は、本特記仕様書 2-4-1 「設計対象領域の 3 次元現況地形モデル作成」で作成した 3 次元現況地形モデルに、本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に定める貸与資料に示す計画路線の既往の 2 次元平面図を重ね合わせ、3 次元現況モデルを作成する。

2-4-3 3次元現況モデルの検測数量

3次元現況モデル作成の検測数量は、面積（km²）とする。

2-5 設計条件

設計条件は、次のとおりとする。

（1）連絡等施設（JCT（IC））

1）ランプ規格： A規格

2）設計速度： V = 50 km/h

2-6 連絡等施設設計

2-6-1 詳細設計

共通仕様書5-4-3「詳細設計」に以下を追加する。

（11）設計報告書

設計報告書は共通仕様書5-4-3「詳細設計」（11）に規定された項目以外に下記の項目についての検討結果を取りまとめ作成するものとする。

1）3次元形状モデル作成時のソフトウェア

2）3次元統合モデル閲覧時の操作方法

（12）用地幅調書作成

監督員の指示に従って、用地幅調書の作成を行うものとする。なお、橋梁高架下の用地幅調書作成は、これに含むものとする。本設計は概略設計（協議用図面作成B相当）後に行う幅杭設計である。

用地幅調書作成の検測数量は、土工延長（km）とする。

2-6-2 3次元形状モデルの作成

受注者は、共通仕様書5-4-3「詳細設計」（2）及び（3）に基づき設計した平面、縦断線形並びに構造物設計等の成果について、平面線形、縦断線形（線形モデル）、道路形状は本特記仕様書2-4「3次元現況モデル作成」で作成した3次元現況モデルに反映させて3次元形状モデルを作成する。

本業務にて詳細設計を実施した、3次元形状モデルの中に表現する土工形状及び主要な構造物（擁壁等）の詳細度は、BIM/CIM 取扱要領で定義する「詳細度300」とし、道路の視認性に関する附帯構造物（標識、防護柵、路面標示、薄層舗装等）の詳細度は、BIM/CIM 取扱要領で定義する「詳細度400」とする。

なお、道路以外の構造物についても、施工上有効と考えられるものについては、3次元形状モデルを作成することは妨げない。

3次元形状モデルの作成費用は、3次元統合モデル作成に含むものとする。

2-6-3 土工形状モデル

本業務においては、本特記仕様書2-6-2「3次元形状モデルの作成」に示す平面、縦断線形及び横断構成情報により盛土、切土等を表現する土工形状モデルを作成する。

土工形状モデルの作成費用は、3次元統合モデル作成に含むものとする。

2-6-4 構造物モデル

本業務において、道路設計区間に含まれる擁壁等の構造物については、構造形式が確認でき、土量計算が可能となるように構造物モデルを作成する。

構造物モデルの作成費用は、3次元統合モデル作成に含むものとする。

2-6-5 舗装・標識モデル

本業務において、道路設計区間に含まれる舗装構成、交通管理施設（標識、防護柵、路面標示、薄層舗装等）及び標識における案内標示内容等については、関係者間の相互理解の促進や合意形成が可能となるような舗装・標識モデルを作成する。

舗装・標識モデルの作成費用は、3次元統合モデル作成に含むものとする。

2-6-6 3次元統合モデル作成

受注者は、3次元形状モデル、土工形状モデル、構造物モデル、舗装・標識モデルによる統合モデルを作成するものとする。なお、道路設計区間に含まれる橋梁に関する構造物モデルについては、本特記仕様書1-5「資料の貸与」により貸与する「詳細度200」の構造物モデルを使用し統合モデルを作成するものとする。

3次元統合モデル作成の検測数量は、土工延長（km）とする。

2-6-7 走行シミュレーション動画作成

受注者は、本特記仕様書2-6-6「3次元統合モデル作成」で作成したモデルを用いて、本線及びランプ部の運転者目線の走行シミュレーション動画及び、鳥瞰動画を次に示す通り作成するものとする。なお、本動画作成は、本特記仕様書2-6-6「3次元統合モデル作成」で使用したソフトウェアで作成できる程度のものとする。また、本動画作成の内容が大幅に変更となった場合、これらに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

番号	動画種別	進行方向	備考
1	運転者目線	仙台北部道路 富谷IC（STA 171+56）から新設ランプを利用し、A・C分流ノーズ位置（STA 148付近）まで	標識・路面標示等の視認性確認のため
2		富谷JCT Bランプ（東北自動車道 上り線）（B-ST A 74+7付近）から新設ランプを利用し、A・C分流ノーズ位置（STA 148付近）まで	
3		富谷JCT Dランプ（東北自動車道 下り線）（D-ST A 43+4付近）から新設ランプを利用し、A・C分流ノーズ位置（STA 148付近）まで	
4	鳥瞰	仙台北部道路 富谷IC（STA 171+56）から新設ランプを利用し、A・C分流ノーズ位置（STA 148付近）まで	全体構造の確認のため

走行シミュレーション動画作成の費用は、3次元統合モデル作成に含むものとする。

2-7 附帯工設計

2-7-1 擁壁工設計

本設計は次に示すとおり行うものとする。

番号	測点	種別	延長 (m)	設計区分	同一設計区分	断面数	すべり 安定計算の有 無	設計条件
1	仙台北部道路 S T A. 4 2 + 1 1 ~ 4 6 + 5	大 型 ブ ロ ッ ク 積擁壁	7 4	詳細設計	—	1	有	基本断面

2-7-2 詳細図作成

詳細図作成は次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目		図面種類	枚数	作成難易度	簡易な応力 計算	備考
詳細図 作成	A	用・排水溝、 集水ます	1	簡単	無	用排水工
	A	仮設落石防護柵	1	簡単	無	交通安全施設工
	B	撤去工詳細図	1	普通	無	
設計協 議用図 面作成	A	流末計画平面図	2	複雑	無	河川・道路への流末 協議のため
	A	流末計画詳細図	1	複雑	無	
	A	撤去工平面図	2	複雑	無	
	A	施工ステップ図	1	複雑	無	供用までの施工ステ ップ図（平面図・横 断面図）
	A	仮配管平面図・断 面図	1	複雑	無	光ケーブル・電源ケ ーブルの仮設平面 図・断面図

2-7-3 工事用道路設計

本設計は次に示す箇所について行うものとする。

地点番号	接続路線名	設計区分	備考
①	既設工事用道路①	工事用道路設計A 詳細設計	
②	既設工事用道路①	工事用道路設計A 詳細設計	
③	既設工事用道路②	工事用道路設計B 詳細設計	

2-7-4 本線外盛土場設計

本設計は次に示す箇所について行うものとする。

地点番号	設計対象	設計条件	備考
④	ループ内盛土場	本線外盛土場設計	

2-8 構造物設計

2-8-1 詳細設計

(1) 仮設構造物設計

本設計は次に示すとおり行うものとする。

地点番号	対象箇所	構造物種別	備考
⑤	富谷 J C T 橋上部工架設時作業ヤード	特殊作業台	

2-9 工事発注用図面作成

工事発注用図面作成とは、共通仕様書5-11「工事発注用図面作成」の規定に従って作成するものをいい、図面の区分、成果品項目及び図面の修正率は、下記のとおりとする。

内訳書の項目	図面の区分	図面の修正率	図面の内容	枚数	設計計算	数量計算	備考
図面修正A	比較的簡易な図面	10%未満	道路区域決定図	2	無	無	
			油水分離ます	2	無	有	

2-10 設計打合せ

打合せの回数は、当初、中間、業務内容確認検査及び完了検査を含め11回とする。設計打合せの検閲数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

なお、当初打合せに要する費用は現地踏査に含むものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社仙台工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

打合せの回数及び人数編成は下表のとおりとする。

種別		打合せ回数	編成（1回当たり）			
			技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）
連絡等施設設計・標識設計	当初	1	現地踏査に含むものとする			
	中間	8	-	-	1	1
	業務内容確認検査	1	-	1	1	-
	完了検査	1	-	1	-	1
	計	11	-	-	-	-

上記については積算上の条件明示であり、編成を指定するものではない。なお、受注者の編成と異なる場合においても設計変更の対象としない。

2-11 交通費・日当・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・日当・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-12 成果品に関する細部事項

（1） 報告書の表紙は、赤色（色番号：バクラム271）、黒文字製本とする。

(2) 3次元モデルの出力

作成した3次元モデルを、「BIM/CIM取扱要領」にしたがって、LandXML形式により出力する。

また、確認・住民説明のために利用する3次元統合モデルも併せて納品する。

(3) 納品データ

成果品として、「BIM/CIM取扱要領」に基づき、CIMモデルを納品する。また、作成した3次元モデルのオリジナルデータ（標準例：AutoCAD Civil 3D形式）及び統合モデル（標準例：Autodesk InfraWorks形式またはAutodesk Navisworks形式）も合わせて納品するものとする。

この際、オリジナルデータ・統合モデルを作成する際に利用したファイル（地形データ（5mメッシュデータ）、基盤地図情報（数値地図データなど）、航空写真、3次元測量成果（実施した場合））も合わせて納品するものとする。

作成したLandXMLデータは、「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準の運用ガイドライン(案)Ver.1.4」における3次元設計データチェックシートにしたがってチェックし、チェックシートを提出する。

納品するメディアは、BD-R、DVD-Rを標準とするが、データ量が多い場合などは、HDDでの納品などについて受発注者間で協議するものとする。

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関係機関との協議または現地状況等により変更または追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

(1) 関係機関協議による詳細図作成及び設計協議用図面作成の追加

(2) 橋梁設計の結果に基づく設計内容の変更または追加

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 仙台北部道路 富谷 J C T 道路詳細設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

(3-2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員 _____ 殿

受 注
管理技術者 _____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 東北支社 仙台工事事務所		
調 査 等 名	仙台北部道路 富谷 J C T 道路詳細設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。